

<b>科目名</b> 周手術期援助論	<b>授業担当者</b> 佐藤 尚樹	<b>所属</b> 中通総合病院 手術室	
<b>開講時期</b> : 中期	<b>単位数</b> : 1 単位	<b>時間数</b> : 15 時間	
<b>授業の目的</b> 周手術期における基本的な看護についての理解を深め、周手術期の過程に応じた看護実践に必要な能力を養う。			
<b>授業の概要</b> 周手術期を術前・術中・術後の各期に分け、その時期の基本的な看護を学ぶ。 術前の看護では、意思決定から手術に向けての一般的準備や看護の流れ、手術を受ける患者の心理と心の準備を手助けする重要性を理解する。 術中の看護では、他職種との共同作業である手術室での看護師の役割や、安全管理、手術体位や麻酔によって引き起こされる二次的合併症の予防に関する看護の実際を学ぶ。 術後は麻酔および手術侵襲によって、生体に様々な変化が生じる。術後の看護では、患者の状態を十分に把握し、おこりうる状態の予測に基づいて緻密な観察が重要となる。術後患者のアセスメントの視点や術後合併症の予防の重要性を学ぶ。 演習を通じて、術後侵襲のある患者への安全・安楽を考慮した看護の提供の必要性と手順を学ぶ。			
<b>受講上の注意・事前学習の内容</b> スライドを用いた講義を行う。周手術期看護を学ぶ上で、様々な分野(呼吸・循環、生体反応、神経・内分泌系、皮膚・神経系、麻酔、感染管理など)の理解が必要となるため、あらかじめ配布する資料に目を通し、予習をして臨むこと。講義中は聞き漏らしがないよう集中して講義を受けてほしい。演習においては身だしなみを整え、事前にイメージしたうえで臨むこと。			
<b>授業回数</b>	<b>学習内容</b>	<b>方法</b>	<b>備考</b>
1	周手術期看護の概論①(周手術期、外科治療について)	講義	
2	周手術期看護の概論②(麻酔、身体侵襲について)	講義	
3	手術前患者の看護	講義	
4	手術中患者の看護	講義	
5	手術後患者の看護①	講義	
6	手術後患者の看護②	講義	
7	演習(離床のシミュレーション、弾性ストッキングの装着方法)	演習	
8	試験		
<b>テキスト</b> 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 医学書院			
<b>参考書・指定図書</b> ナースのための基礎 BOOK これならわかる! 術前・術後の看護ケア～周手術期看護の基礎知識から退院支援まで～ ナツメ社			
<b>評価の方法</b> 筆記試験			

\*この科目は実務経験のある教員による科目となります